

事例研究報告

**特別支援学校中学部の生徒に
2つのものを見比べる行動を教える**

生徒の実態

○中学部生徒 知的障がい

○その他

- ・日常生活全般において支援が必要。
- ・やりたくないことは座り込んだり声を上げたりして怒る。
- ・好きな歌をワンフレーズ歌うことができる。
- ・好きな歌の絵本が取りたいときや椅子に座りたいとき、辺りを見回し探すことができる。
- ・近眼であり興味のあるものは顔を近づけて見ようとする。
- ・常に後ろにそった姿勢をとりがちのため、階段や段差は見守りが必要。
- ・指先でボタンを押したり物をつまんだりすることができる。

教員の考え

「課題に取り組む時間を増やしたい」

「課題のレポーターを増やしたい」



アドバイザーからの助言

まずは、

「目を使う」行動を強化

することから始めましょう。



指導目標の見直し

【長期目標】

具体物を手渡したり、二者択一したりして、要求や意思を教員に伝えることができる。

【短期目標】

2つの物を提示されたとき、好きな歌の絵本を取ることができる。

方法

【対象児】

中学部 1 年女子生徒

【指導場面】

国語や数学の学習時

【般化場面】

担任以外の人が指導しても、2つの提示されたものから、好きな歌の絵本を取ることができる。

【教材】

歌の絵本 日用品や文房具

指導1: 目を使う活動を設定する。

- 1 好きな歌の絵本と日用品や文房具の2種類を提示する。
- 2 ものを見ずに手を伸ばしたときは触れさせず、ものを引っ込める。
- 3 歌の絵本を見て取ったときは、本を渡しほめる。
- 4 日用品や文房具を取った後、歌の絵本の要求があっても動かさず応じず1分ほど待つ。
- 5 歌の絵本を取った後は、1フレーズ聴かせて再び絵本を取る。
- 6 1から繰り返す。(1日10回試行する)

記録方法と記録

| | 左 | 右 | 見比べ反応 | 見なかった回数 |
|---|--------|------|-------|---------|
| 1 | 歌の絵本 | コーン | × | 正 |
| 2 | はさみ | 歌の絵本 | ○ | — |
| 3 | 歌の絵本 | 鈴 | | |
| 4 | ビックマック | 歌の絵本 | | |
| 5 | 歌の絵本 | コーン | | |

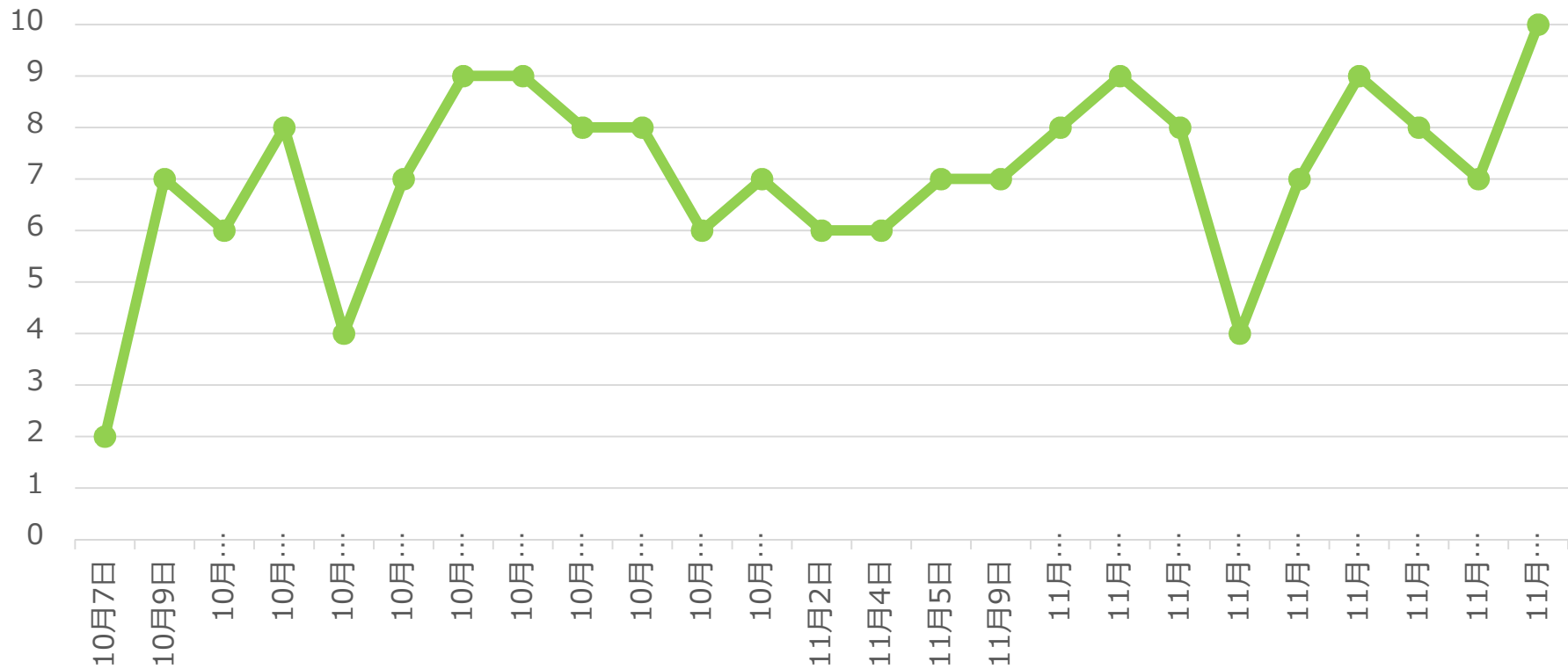
達成基準

歌の絵本を取った回数が、10回中8回以上の日が5日あれば、達成とする。

指導の成果

目を使って指導を進めたことで、2つの物を見比べて、好きな歌の絵本を取ることができるようになりました。提示する担当が変わっても、見比べることができるようになりました。

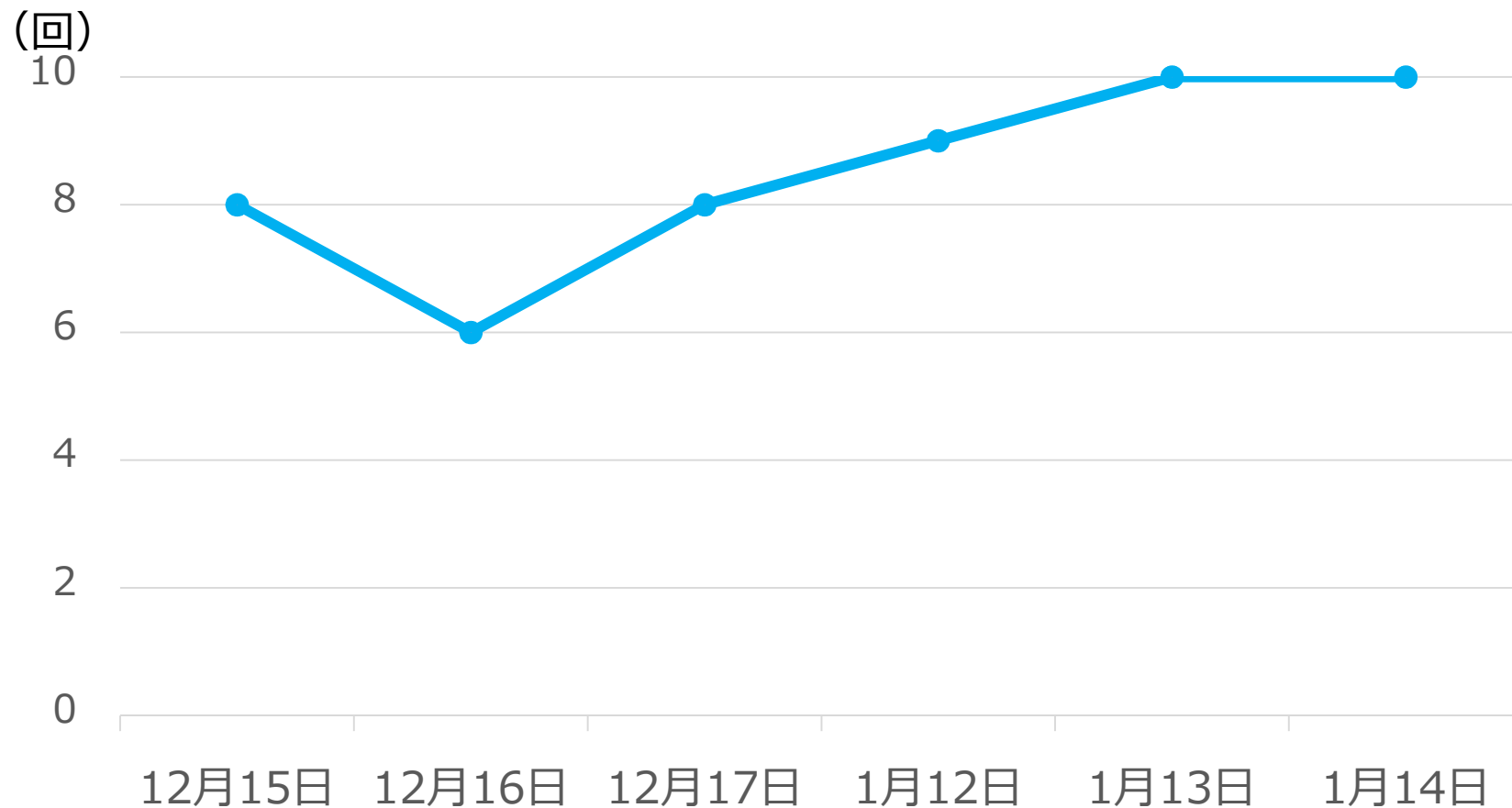
(回)



結果 1 見比べ反応があった回数

指導の成果

- ・ 視野や体の向きから，正面から左側の範囲にかけて提示する方がよく見ることが分かりました。

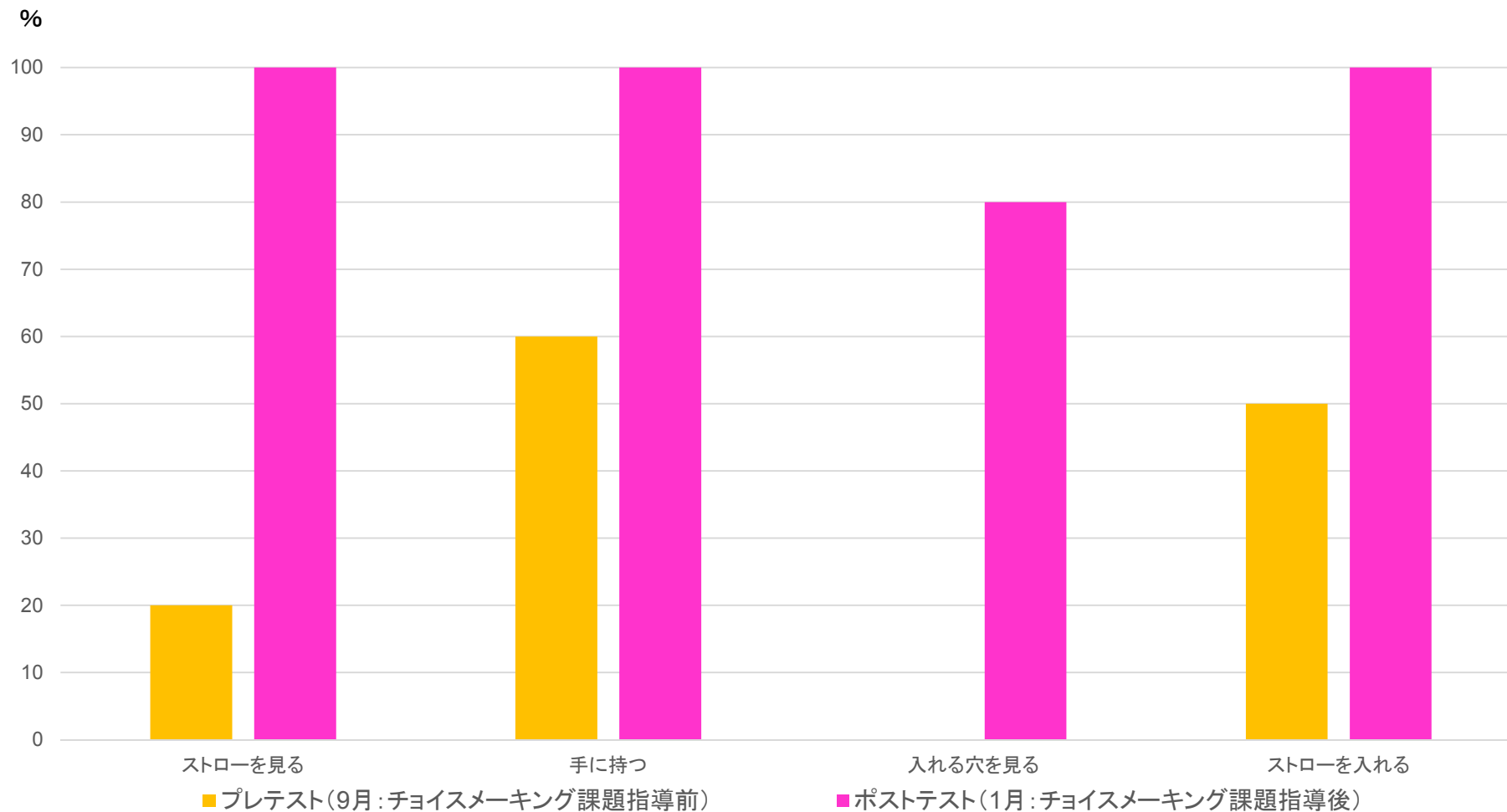


結果 2 歌の絵本を取った割合

10

指導の成果

指導の結果、各課題の事後テストで、見る回数や達成回数が増えました。



ここが成功のポイント



○絵本を見た時のみ，絵本を渡して強化したことが有効だった。

○指導場面以外でも，よく目が合うようになった。床に落ちている物を拾ったり，ボールを持ってカゴに入れたり，一人でできることが増え，表情が豊かになった。